



# “学校の森”から始まるアクティブラーニング

体験—表現—交流を連動させる

キーワード

- ・学校の森
- ・体験—表現—交流の方法
- ・育てたい力とESD
- ・交流

# “学校の森”から始まるアクティブラーニングの提案 まとめ

---

## 1 “学校の森”の概念

- ・活動の出発点でわれわれが共有する大事なもの。
- ・全てがユニークで同じものは一つとしてない。

## 2 体験-表現-交流するアクティブラーニングの方法

- ・連動させることに意味がある。
- ・学習活動の展開をイメージしやすい。 交流の重要性を認識できる。

## 3 育てたい力 (目的)

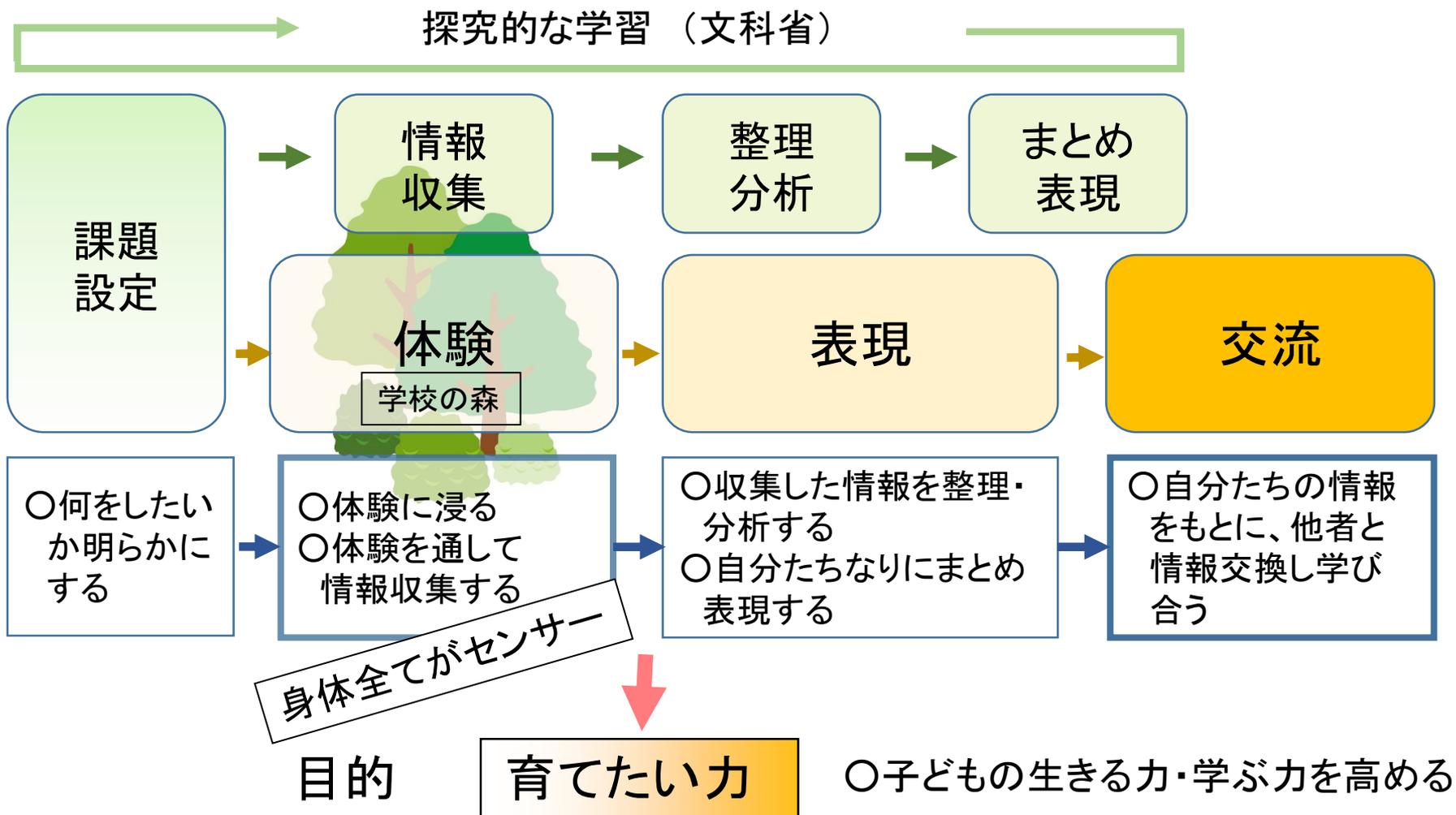
- ・本来身につける力 体験そのものに浸る。 感性。
- ・これから生きる力 探究する力、学び合う力、ESD を指向する。

## 4 “交流”の重要性 (方法)

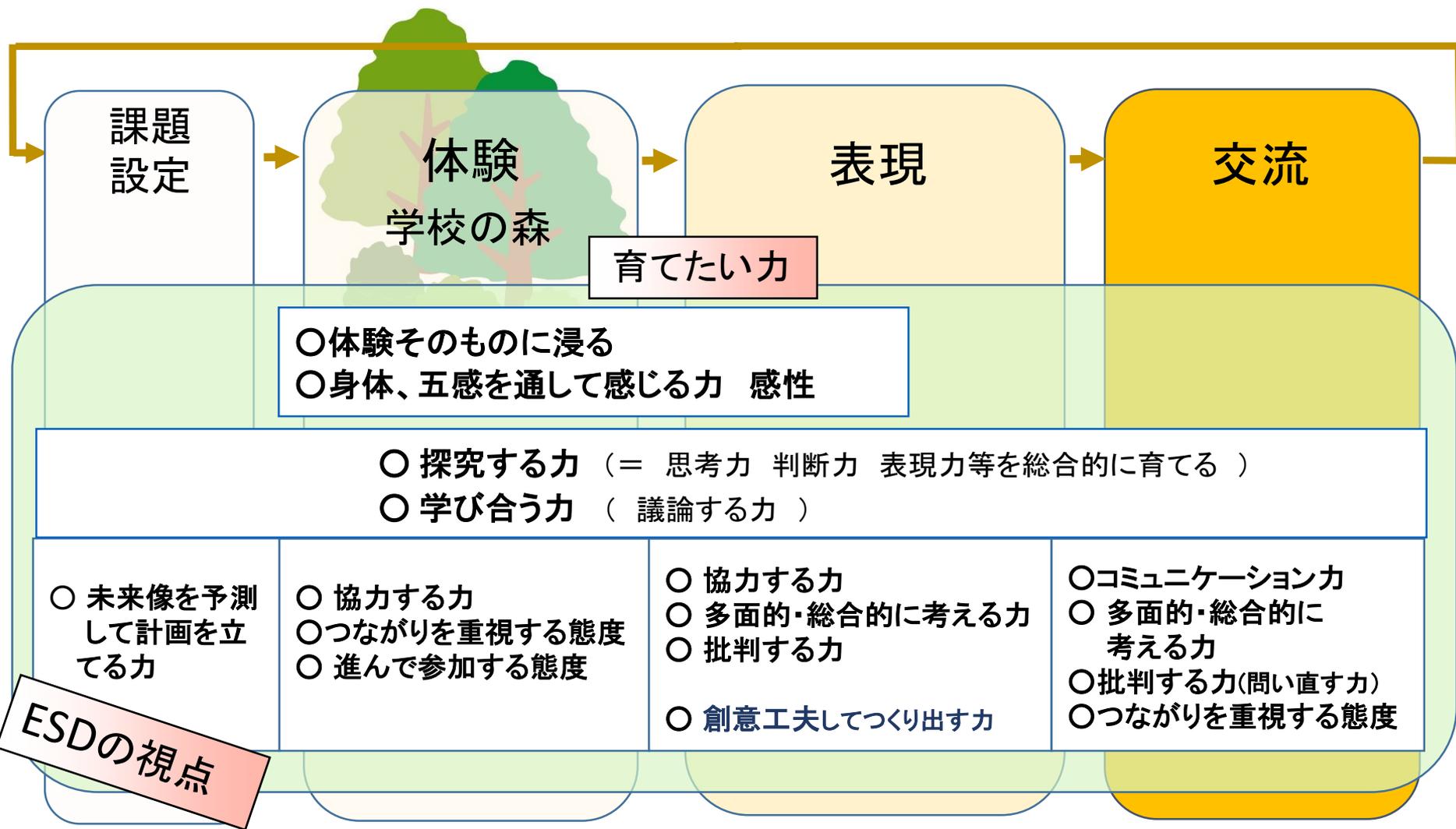
- ・子どもの主体的な学びに欠かせない。“気づき”や“問い直し”が生まれる。
- ・“学校の森フォーラム”を積極的に活用して、全国の仲間とともに学び合おう。

## 2 体験—表現—交流するアクティブラーニングのメリット

- “学校の森”が出发点
- 学習活動の展開をダイナミックにイメージしやすい
- 交流する活動の重要性



### 3 目的 育てたい力



他者と交流することで”気づき”や”問い直し”が生まれ  
子どもが主体的に学びをふり返り発展させることができる

交流の意義

# 方法 “交流”の重要性

- 交流は子どもの主体的な学びに欠かせない
- 校内-地域-全国-世界と積極的に交流する子どもを育てる

体験－表現－交流の同じ延長線上にある

